

# 泌尿器科専門医へのアンケート

監修：榊原隆次（東邦大学医療センター佐倉病院内科学講座神経内科学准教授）

## 排便障害

排便障害は、排尿の問題を扱われている先生方はもちろんのこと、一般内科で、広く患者さんから訴えられる症状と思われます。排便障害と比べて、便秘その他の排便障害は、身近な症状であるにもかかわらず、病態がまだ十分に明らかでない点があります。そのため、治療に難渋することも、少なくないのではないのでしょうか。今回、広く一般医家の先生方に、排便障害のアンケートについて、ご回答いただくことを企画し、ご協力を賜ることができました。ここに集計されました結果をご覧くださいますと幸甚です。

### アンケート実施要項

調査対象者：日本泌尿器科学会認定専門医（開業医）50名

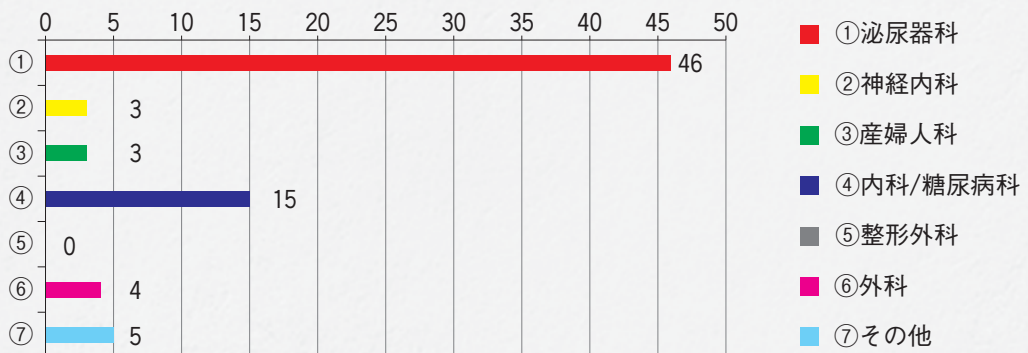
有効回答数：46名（92%）

調査方法：FAX, E-mail

調査対象地域：全国

Q1

外来診療についてお伺いします、どのような科の疾患をご覧くださいになりますか？（複数回答可）



#### その他

①④⑦：漢方科、アレルギー科、性感染症科。

①④⑦：皮膚科。

①⑦：「泌尿器科：皮膚科の患者数」は6：4です。

①⑦：小児泌尿器科。

⑦：皮膚科。

#### コメント

①：腎臓内科の診療もたまに行います。

①②③④：開業3年。何でも屋になります。

①②③④：①がメインです。1名のみ②（パーキンソン

病）、③④は月に数例。

①④⑥：在宅診療。